

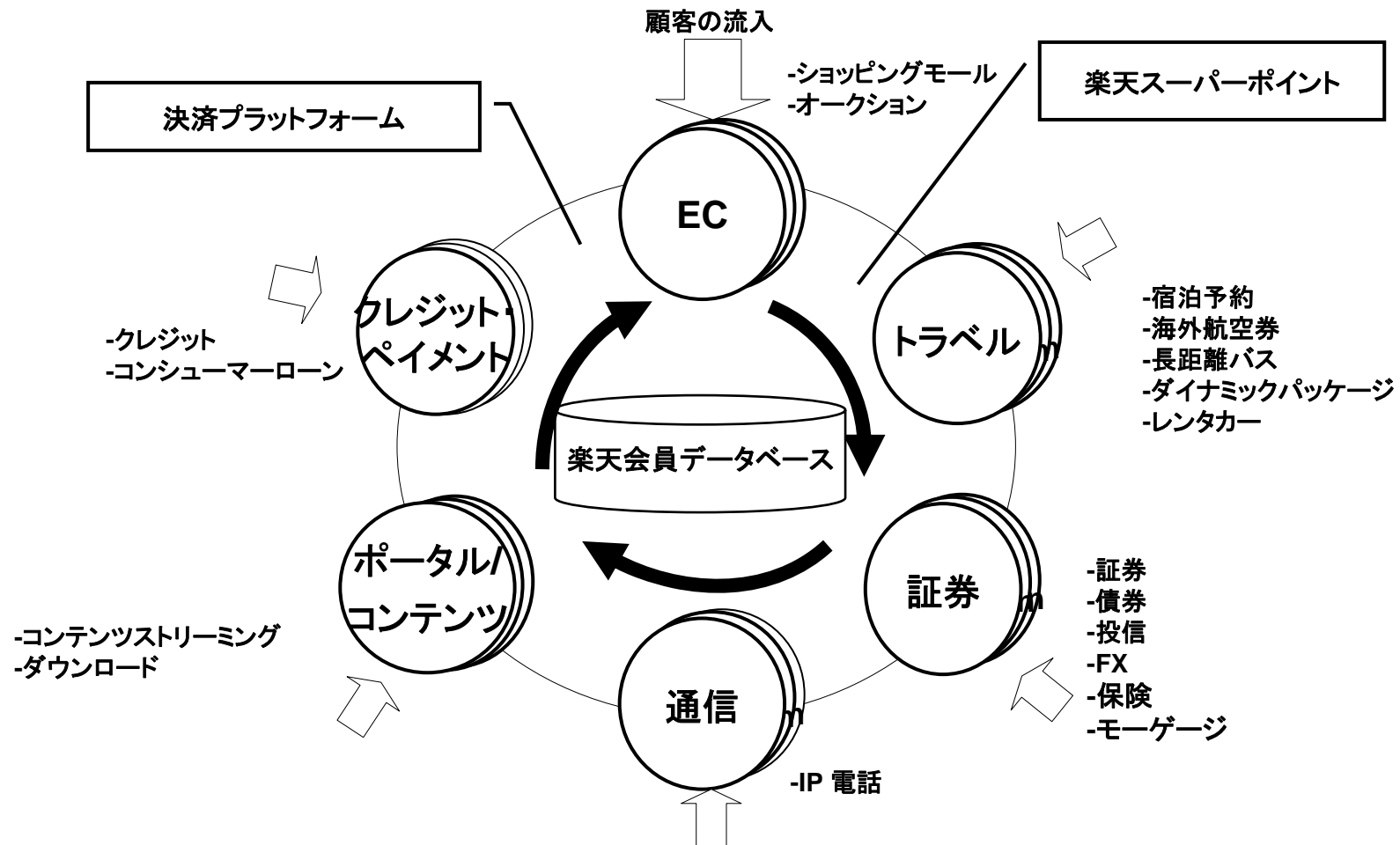
楽[®]天

金融審議会金融分科会第二部会決済に関するワーキング・グループ(第9回)説明資料

決済サービスに関して

2 0 0 8 年 1 0 月 2 3 日
楽 天 株 式 会 社

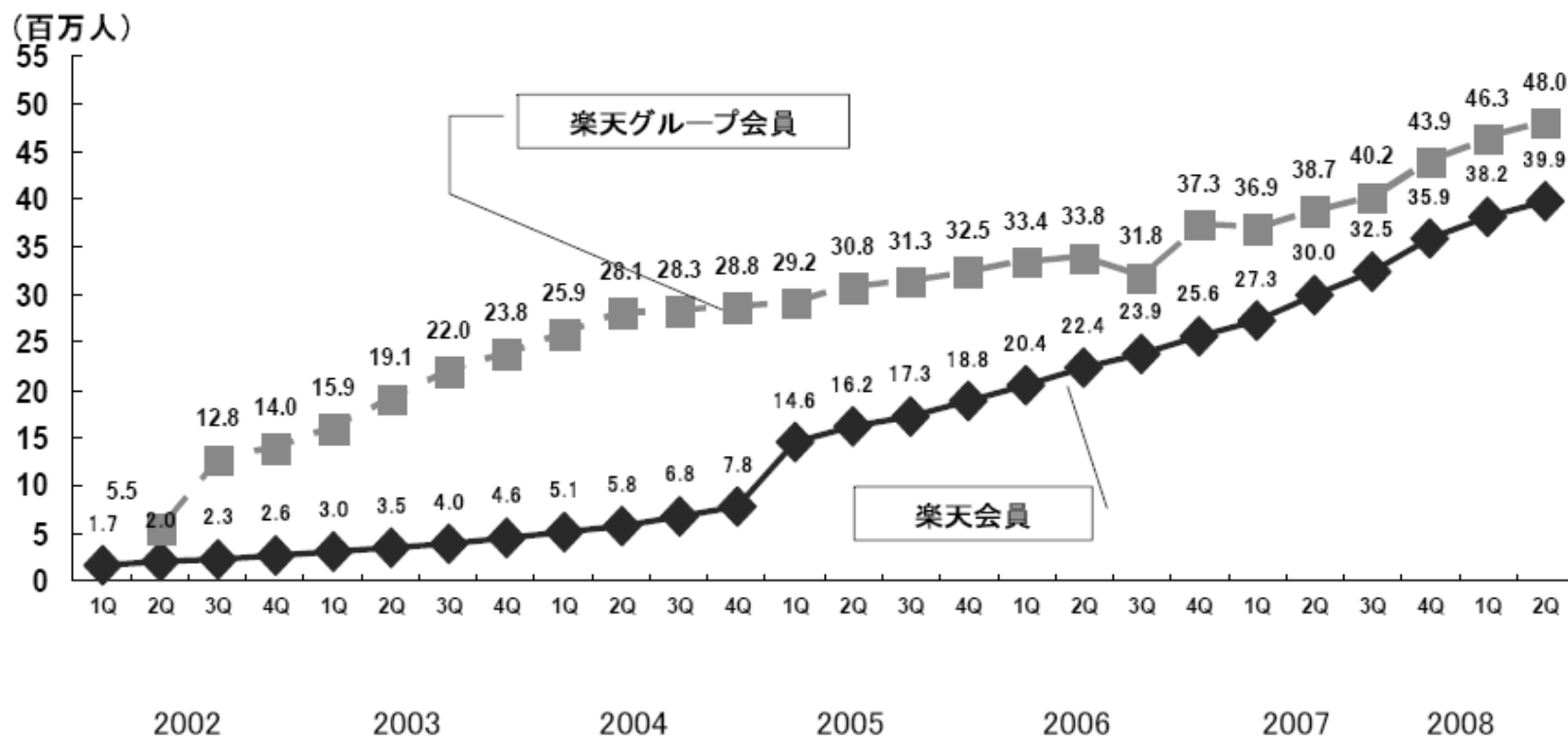
■約4,800万人を超える日本最大規模の会員データベースをビジネス資産として有しており、このメガマーケットに向けて顧客満足度の高い各種サービスの提供を進めています。



楽天会員の増加



- 楽天グループ会員は加速度的に増加し、約4,800万人に
- 7/3に楽天会員も4,000万人に到達



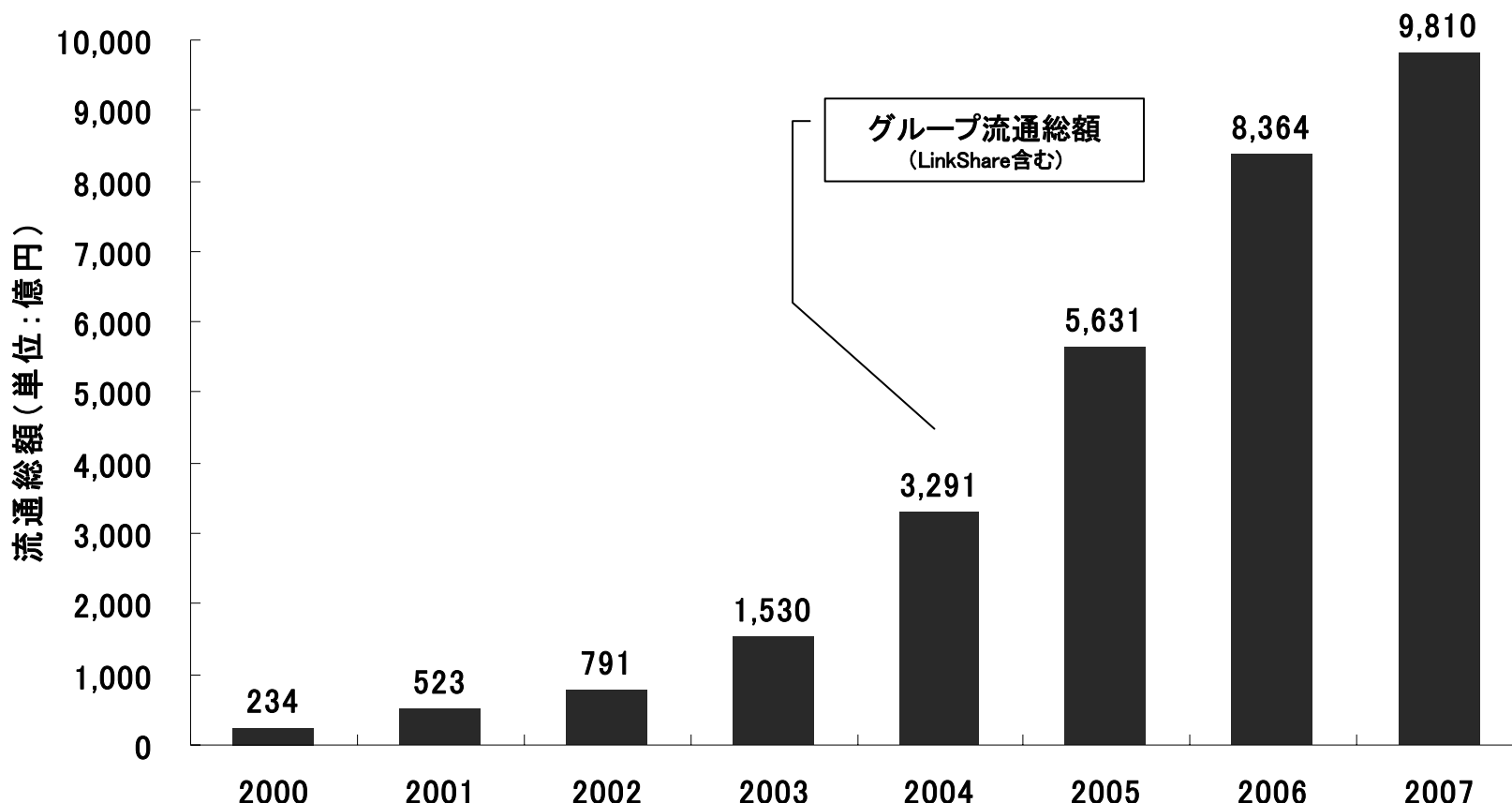
- * 楽天会員：楽天市場、楽天トラベル、インフォシーク、楽天グリーティングなどで利用可能な統合されたユーザーIDを取得している会員
- * 楽天グループ会員：楽天会員に加え、旧旅窓会員などの統合前の旧サービスIDならびに楽天証券、楽天KC、楽天クレジットなどの楽天会員とIDが統合されていないサービスの会員

グループ流通総額の推移(年間)



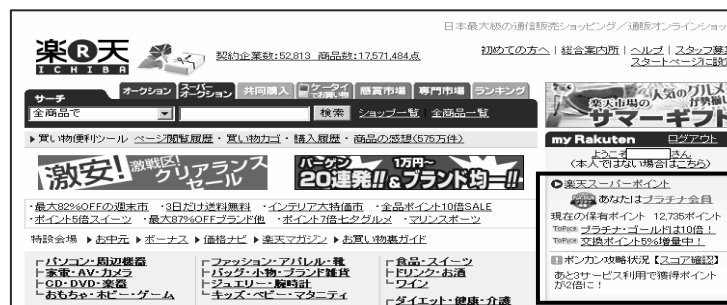
各事業の成長でグループ流通総額はほぼ一兆円に

グループ流通総額(億円)



※ EC: モール(通常購入、共同購入、スーパーオークション)、フリマ、モバイル、ビジネス、ゴルフ、ブックス、楽オク、ダウンロード、リンクシェア
※ トラベル: 国内/海外施設予約、海外航空券、国内/海外ダイナミックパッケージ、バスサービス

- 世界で初めてポイント・プログラムをインターネット上に本格導入
- 発行目的
 - ーロイヤルティの促進及び顧客保持
 - ーセグメントを越えたビジネス機会の増加(楽天エコシステム内でのクロスセル)
- 幅広い流通性・汎用性を前提とした支払手段として発行する性格のものではない



楽天スーパーポイント

あなたはプラチナ会員

現在の保有ポイント 12,735ポイント

ToPics プラチナ・ゴールドは10倍!

ToPics 交換ポイント5%増量中!

■ ポンカン攻略状況【スコア確認】

あと3サービス利用で獲得ポイントが2倍に!

「現在のポイント
12,735ポイント」

ポイントを貯める

- 1% 楽天市場での購入
- 1% 楽天トラベルでの予約
- 1% 楽天カードの利用
- 1%~ アフィリエイトプログラム報酬
- 他のポイントプログラムからの交換

ポイントを使う

- 最低50ポイントから、楽天市場での購入に利用
- 楽天トラベルでの予約で利用
- 他のポイントプログラム(一部)との交換が可能

■付与方法

利用額に応じて原則1%（税別100円で1ポイント）

■利用方法

1ポイント=1円相当として利用

■有効期限

通常のポイント—最後にポイントを獲得した月を含めた1年間に新たなポイントを獲得しない場合、失効。

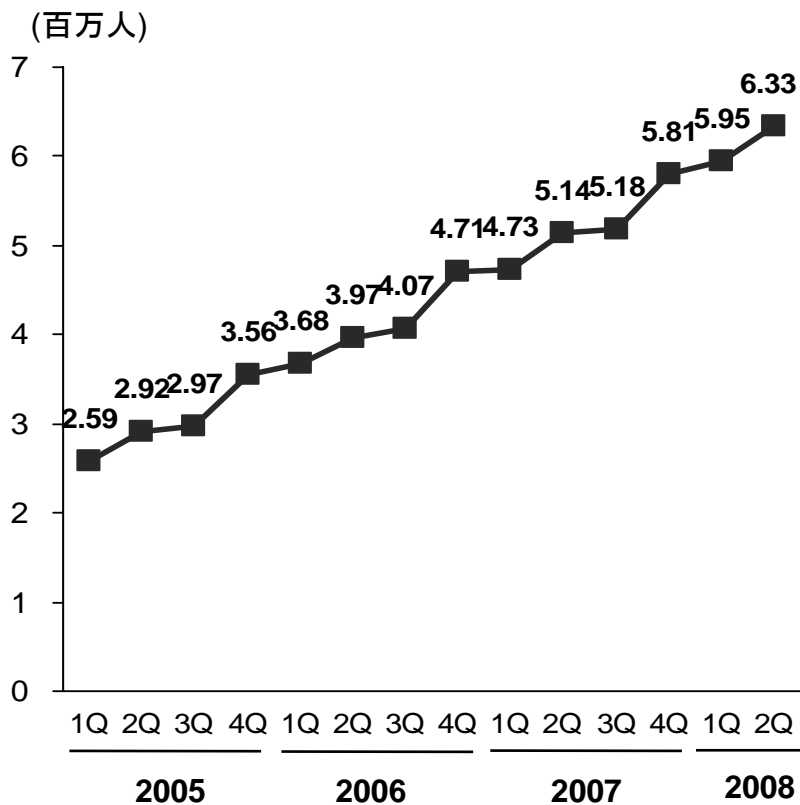
期間限定ポイント—キャンペーンなどにより各々設定

■発行原資

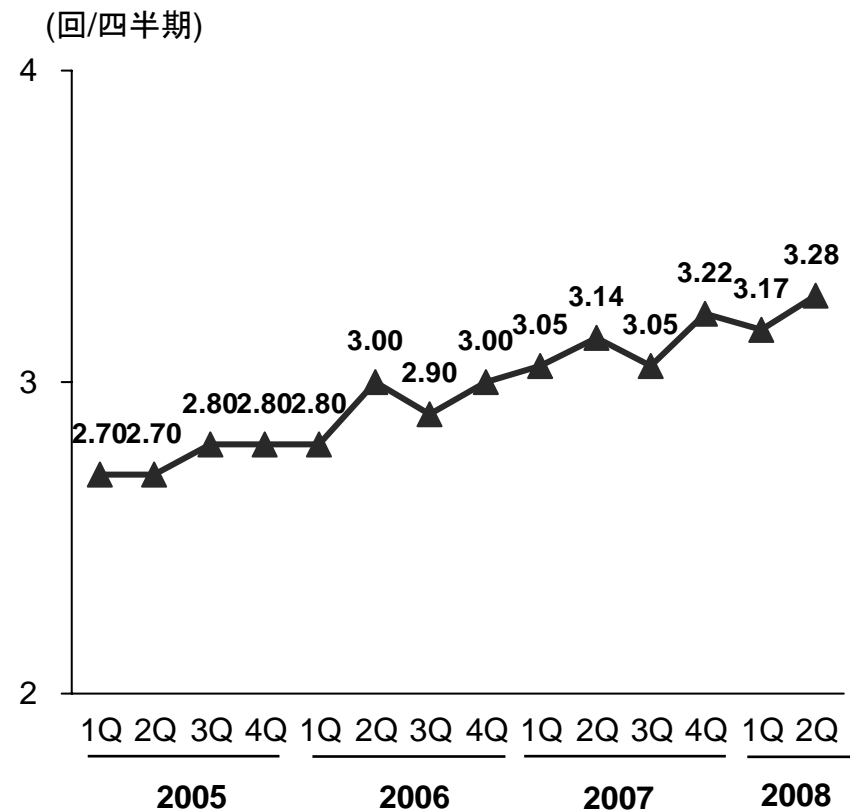
通常のポイントは、出店者負担。期間限定ポイントには、一部当社負担がある。

■ 楽天市場のユニーク購入者数、ひとり当たりの購入回数が引き続き増加

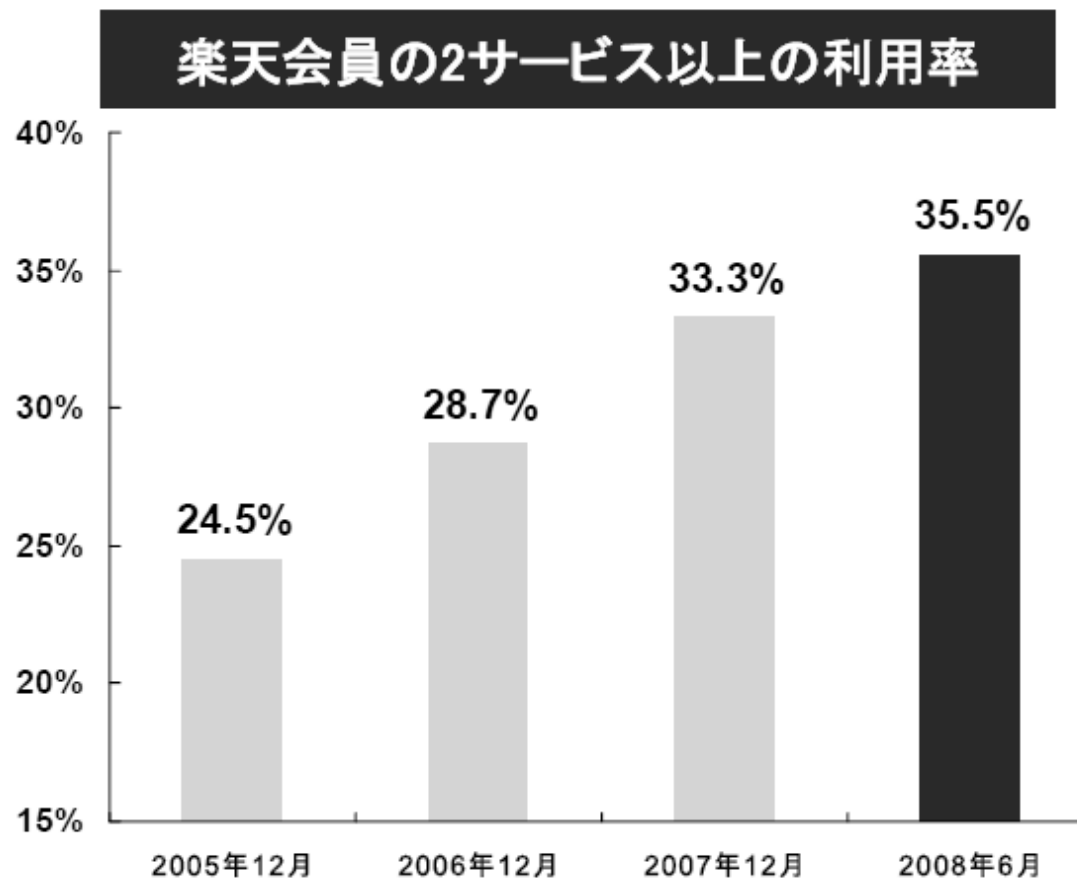
ユニーク購入者数



平均購入回数／四半期



- 楽天スーパーポイントプログラム等の施策が功を奏し、
全体のクロスユースも進展



※当該月間の楽天スーパーポイント獲得可能サービスの利用者が、過去12ヶ月間に他サービスを利用した場合をカウント
※楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る(証券等を含まない)

ポイント交換



■交換の状況

－相互交換 3社、楽天スーパーポイントへの交換 28社

■交換レート等

－個々に判断・設定

相互交換

楽天スーパーポイントへの交換

	(楽天グループ)	(銀行)	(クレジットカード)	(ネットリサーチ)	(その他)			

■会計上の処理

ポイント未利用残高に一定の引当率を掛け合わせた額を、「ポイント引当金」として、B/Sの「流動負債」に計上。

■個人情報保護への対応

個人情報保護法等に基づき適切に対応。

- －個人データへのアクセス制御等安全管理措置の実施
- －「個人情報保護方針」において、収集する個人情報の内容とその利用目的を明示

<個人情報保護方針(抜粋)>

3. 個人情報の収集について

(2) サービスの利用に関連して取得される情報

(略)

- ・楽天スーパーポイントの獲得に関する情報

4. 利用目的について

(略)

(3) 当グループの広告宣伝またはマーケティングなど

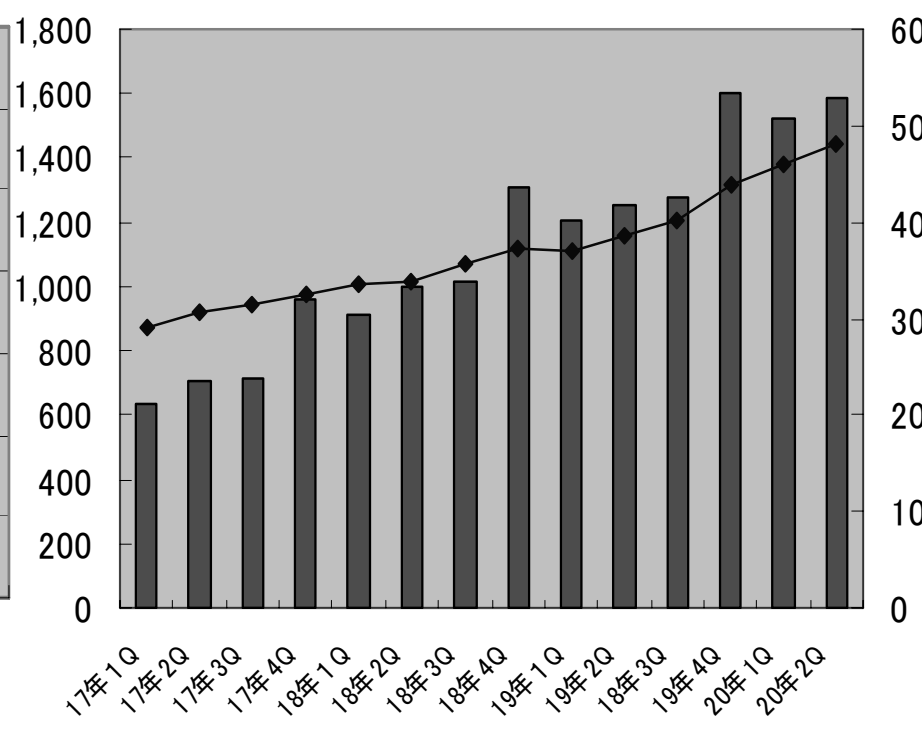
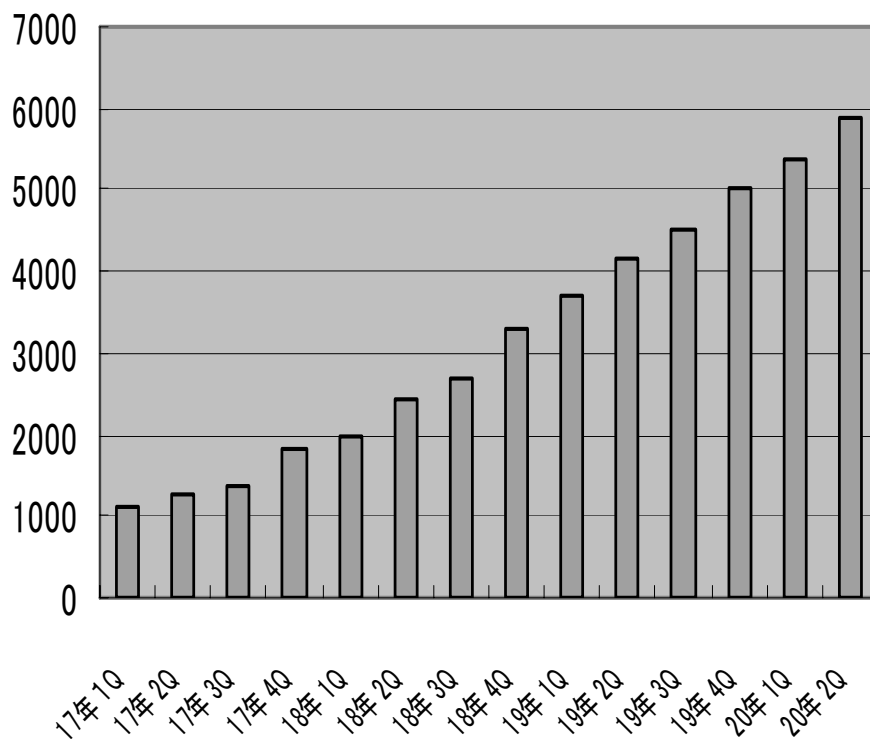
ポイント引当金の推移等



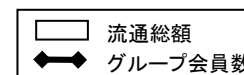
ポイント引当金の推移

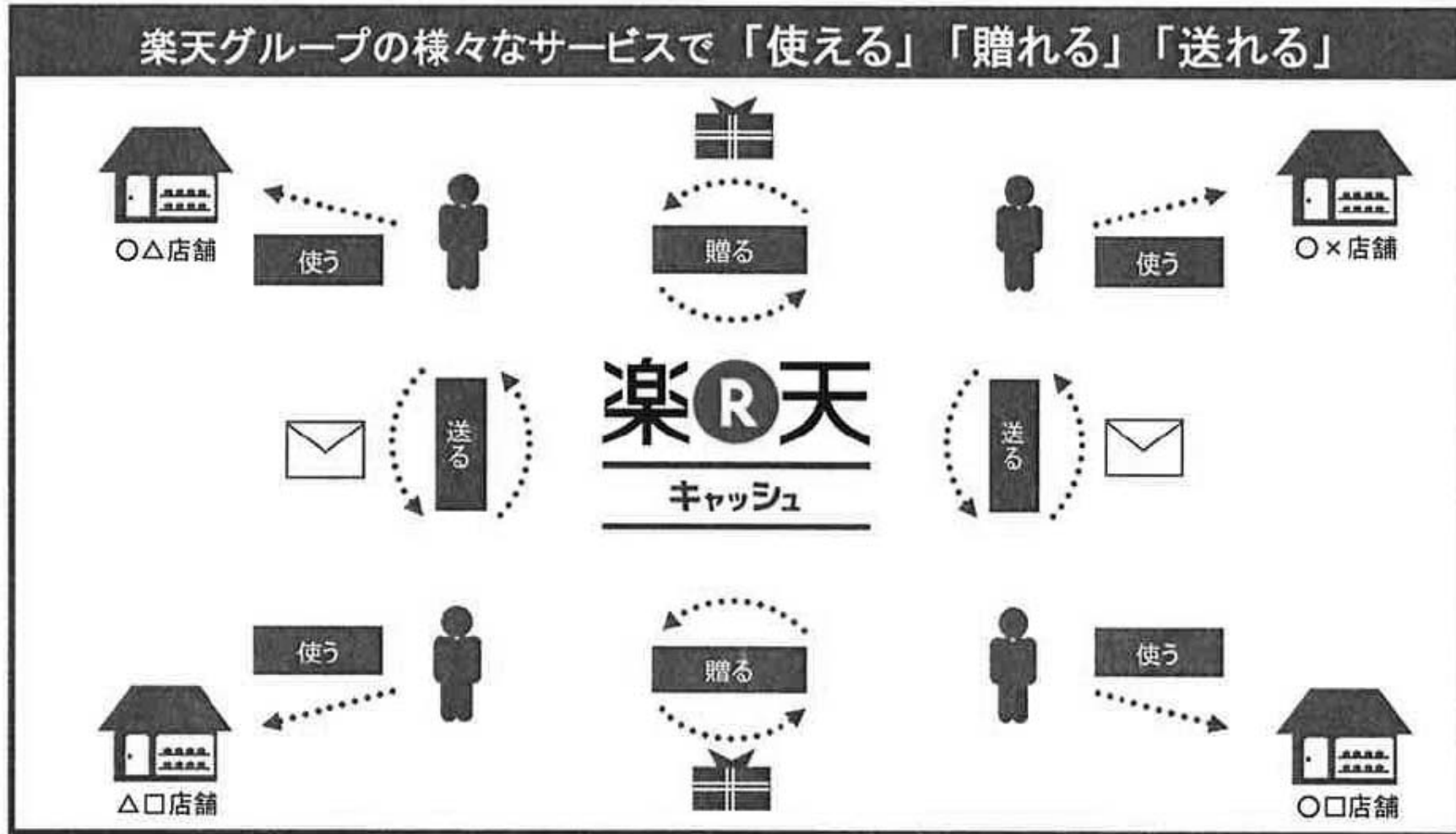
引当金額
(単位:百万円)

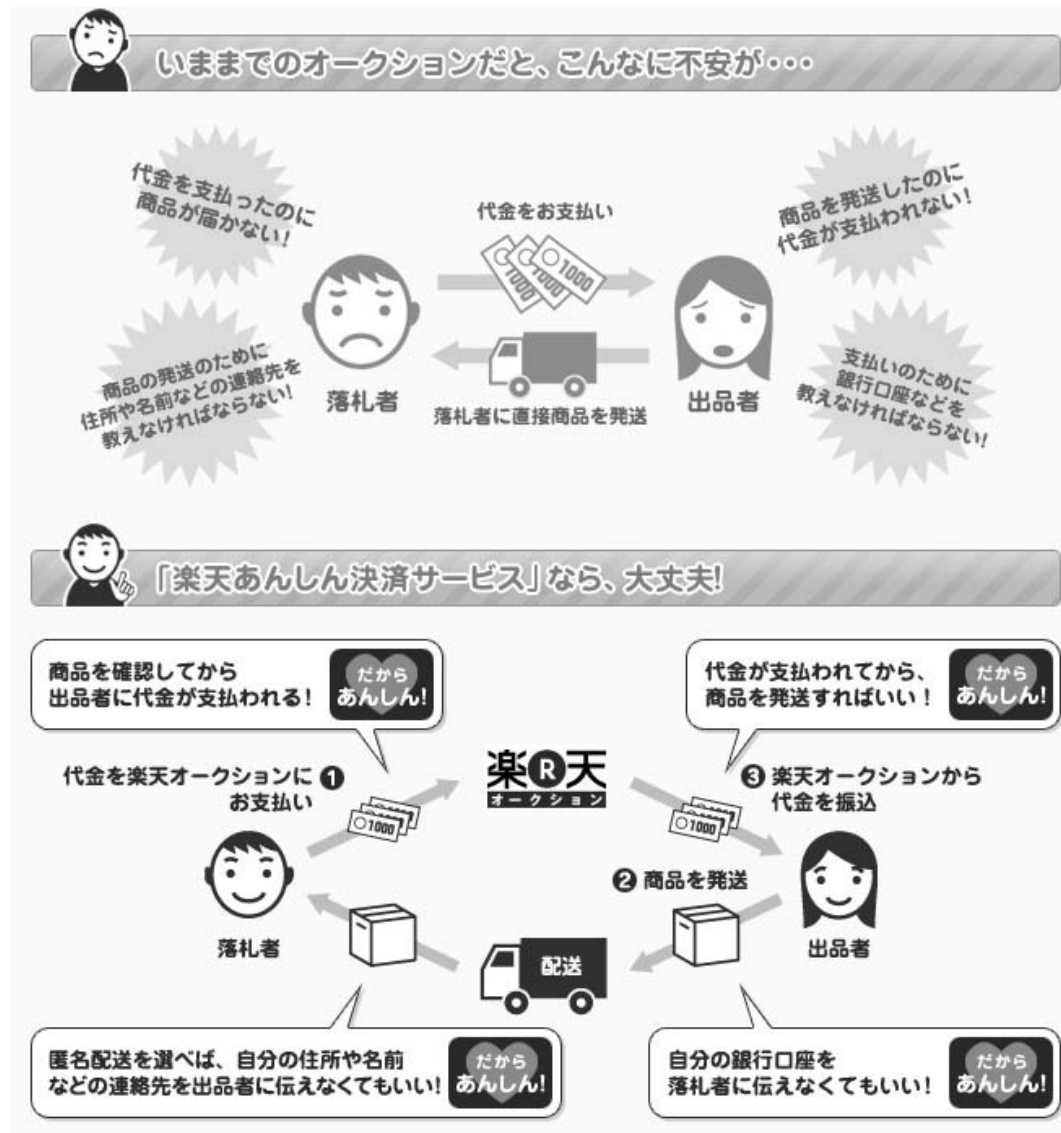
グループ流通総額 (参考)グループ流通総額と会員数の推移
(単位:億円) (単位:百万人)



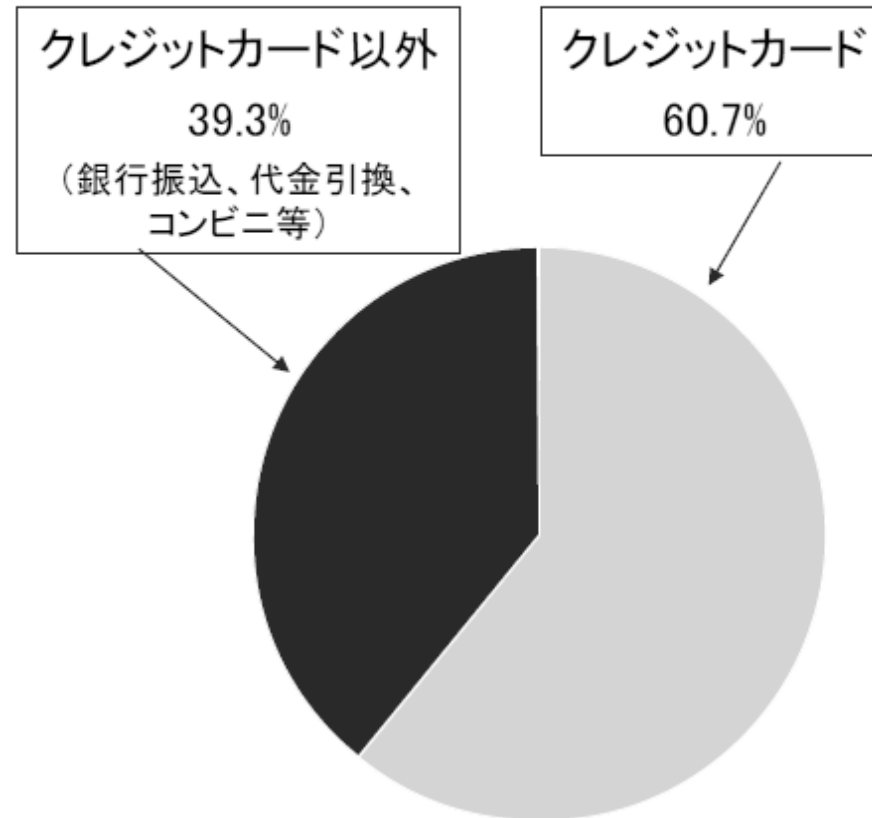
決算時期







楽天市場における決済方法 (流通総額ベース、08/2Q)



1. 総論

- 消費者保護の観点から、銀行に準ずる金融規制という法的措置を構ずるまでの必要性があるのかを慎重に検討する必要がある。
- 過剰な規制が、かえって、消費者利便の阻害やイノベーションの阻害にならないかを強く懸念。

2. 前払式支払手段

- 前払式支払手段についてイコルフットイングの観点から範囲を拡大するとしても、真に規制が必要な部分に限定されるよう、前払式支払手段の定義等の検討が必要である。
- 電子マネーから電子マネー、ポイント等への交換は、電子マネーの活用方法の一つであり、消費者が自らの判断で行っている。

3. ポイント・サービス

- ポイントは、顧客のリテンションの拡大、クロスセルの拡大などの目的から発行する景品・おまけとして考えるべきものであり、幅広い流通性・汎用性を前提とした支払手段として発行する性格のものではない。
- 利用者は、自らの判断でポイント交換を行っている。利用者にとっては、ポイントの交換は、ポイントの活用方法の一つ。
- ポイント交換先と利用者との間で対価を支払う関係は存在しない。
- ポイント交換に関して金融規制を課すほどのトラブルはないのではないか。
- 消費者の安全安心を確保するには、適正な会計処理や利用者への説明の充実等を事業者において行っていくことが重要。

4. 資金移動サービス

- 電子マネーは、使用範囲は加盟店に限定されており比較的小額であることもあり、通貨類似の汎用性・流通性までは持っていないのではないか。
- 電子マネーの送金業務について、銀行に準ずる金融規制を課す必要性があるのかについては、慎重に検討する必要がある。

5. 収納代行サービス等

- 収納代行、代金引換、エスクローは、通信販売の決済方法として広く活用されており、消費者に支持されている。
- 過度な規制が、このようなサービスの健全な運営を阻害することを強く懸念。
- これらの方法について、金融規制を課すほどのトラブルはないのではないか。
- 消費者の安全・安心を確保するためには、受領代理権があることを明らかにするなど関係者間のルールを明示していくことが重要。

樂天